



HOPPY team TSUCHIYA

レーズリポート

2025SUPER GT Rd.1 岡山国際サーキット

日時	2025年4月13日 決勝	■車両名	HOPPY Schatz GR Supra GT
■場所	岡山国際サーキット	■カーNo.	25
■監督	土屋 武士	■ドライバー	松井 孝允／佐藤 公哉
■チーム	HOPPY team TSUCHIYA	■リザルト	決勝 16位(GT300クラス)

※上位チーム失格のため 15 位に繰り上げ入賞

初日厳しい船出も、決勝は大荒れのレースを完璧なレース運びで躍進！

開幕戦で今季への確かな手応えを掴む！

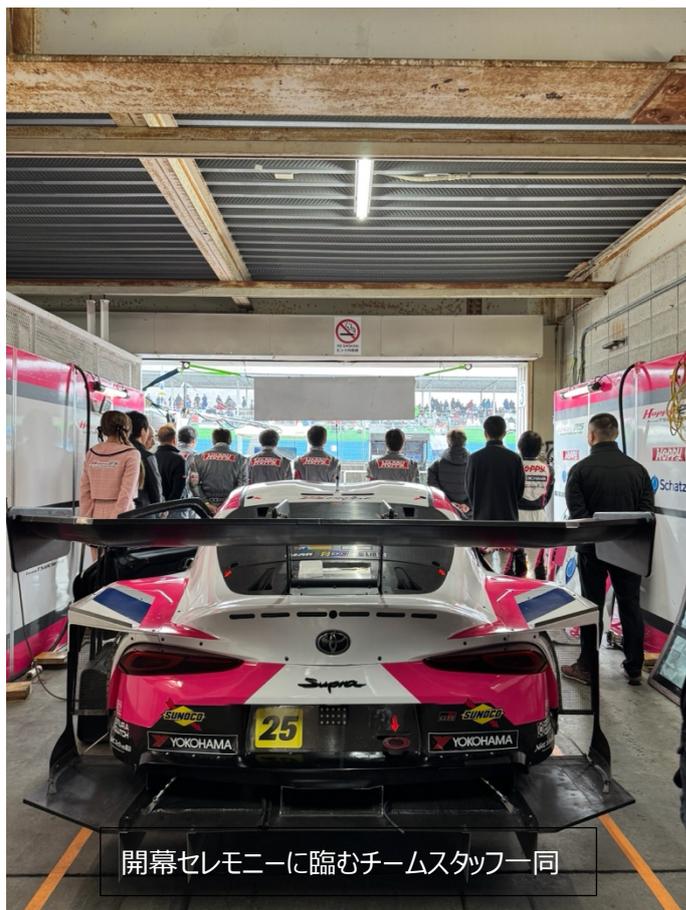
2025 シーズンの SUPER GT シリーズがいよいよ開幕。舞台は今年も岡山県美作市、岡山国際サーキットだ。

今季は「本当の意味での“つちやエンジニアリング復活”の年にする」、強い決意で臨んだ開幕戦。

予選 27 位と苦しんだが、決勝は度重なる赤旗やセーフティカー導入となる中、盤石のレース運びで順位を大幅に上げ、ポイント獲得までとわずかの 16 位と、次戦以降につながる手応えを掴むレースとなった。

晴天の前日から打って変わって、朝から強い雨風で荒れ模様の決勝当日となった。

HOPPY Team TSUCHIYA はウェットからドライへと路面状況が変わるレースを想定。それに向けたタイヤ選択、ピット戦略など綿密な準備をして臨んだ。雨が止まず路面に水が浮いた状態により、セーフティカースタートという判断が下された。セーフティカーラン終了、さあ競走開始！となった直後、GT500 クラスで数台が絡むクラッシュが発生し、一旦赤旗に。再スタート後もセーフティカースタート、ここで 8 周目、HOPPY Team TSUCHIYA が動く。25 号車「ホピ子 2」がピットイン。給油だけを済ませて再スタート。通常のタイヤ交換時のピットストップ時間を極力減らそうという作戦だ。レース再開後もクラッシュやスピアウトなどにより、セーフティカーが一度、フルコースイエローが一度挟まる荒れた展開に。そんな中で着々とポジションを上げていく 25 号車は 30 周目に 19 位、44 周目にはポイント圏内の 15 位にまで順位を上げる。路面が乾き始めた 47 周目、ここで 25 号車がピットイン。レインタイヤとスリックタイヤのラップタイムを冷静に見極めながら「ここ」というタイミングでスリックに交換。ドライバーも松井孝允選手にチェンジ。一旦は順位を 21 位まで下げるものの、ここから松井選手が周回ごとにラップタイムを上げ、58 周目には 16 位までポジションアップを果たす。ポイント圏内の 15 位を走るマシンとの差は約 8 秒。ラップタイムペースもさほど変わらないことから、厳しい戦いが想定された…、そこへ再びアクシデント！フルコースイエローから結局セーフティカー導入。これで一気に前走者との距離が一気に詰まる。最終盤の 70 周目、最後は超スプリントレースの様相を呈した中でセーフティカー導入ステイカーラン終了！猛烈に前を追う松井選手！しかしわずかに届かず 16 位でレースフィニッシュ！前走の 15 位とはわずか 0.415 秒差まで迫ったが、惜しくもポイント獲得とはならなかった。それでも準備してきたことが出せ、中断で激しい争いを演じられたことで「久しぶりに“つちや”らしいレースができた」とチームは確かな手応えをつかんだ開幕戦となった。



開幕セレモニーに臨むチームスタッフ一同

▼決勝リザルト GT300 クラス 16位

▼土屋監督コメント「正直やれること全部やれたなと。いいレースができたなと思います。(ピット戦略がうまく行っていた)そうですね。全部考えて、準備してたんで、チームにも『こうなるかも知れない』というのは常に話しながら。一番難しかったのはタイヤのチョイスだったり、タイヤの内圧。どのコンディションに合わせるか悩んだんですけど、そういう部分を含めて、あとスリックタイヤに交換するタイミングも僕達もっている中では最高のタイミングとチョイスができたなと思ってんで、開幕戦やり残したことがない開幕戦ができたなと、セットアップに関してもそうですし、いろんな選択、正直『ああしておけば良かったな』というのがゼロの開幕戦ができたんで、納得です。(初日厳しいスタートだったが、手応えになった?)まだまだ全然トップを取れるようなポテンシャルを発揮できてないんで、そこは辛いなあ、と思ってんですけど、チームとしてはひとつ目標だったいいリズムを作る開幕戦、次に期待できる開幕戦が最低限の目標というか、それを掲げて入ったんで、もう終わった後のみんなの表情を見れば良かったな、って思えるんで、この良い弾みがつく開幕戦が過ごせたかなと思っています。つちやエンジニアリング、ここ数年低迷していたんですけど、今年こそ復活元年というか、強いつちやエンジニアリングが戻ってきたなと思っていただけるようなそういう1年にしたいと思っていますので、そういう意味ではいいスタートが切れた開幕戦、今後どんどん上がっていけると思うんで、横浜タイヤさんに頑張って良いタイヤ作ってもらって、必ず今年、上位に行きたいと思います。開幕戦、応援ありがとうございました！」



▼松井孝允選手コメント「正直悔しいです。チームの戦略が本当に完璧で、しかもポイント(獲得)が目の前ってところが。終わってみて、レースしてるんで終わってみて凄く悔しいなと、もちろん完走できたのは嬉しいですけど、2025年の開幕戦としては凄く良かったんですけど、とにかくポイント目の前だった、っていうのが終わってすぐなんで、悔しいなという気持ちで一杯です。(終盤難しいシチュエーションだったが?)とにかく前しか見てなかった。とにかく前だけ見て走ってたんで、後ろどうこうより、目の前のライバルを抜きたかったなというのが正直なところですよ。(最後のリスタートからはスプリントレースみたいな気持ちだ

った?)そこはちゃんとレースした感があって、レースしていると凄く燃えてきますし、そういうところがモータースポーツのいいところだと思いますし、人に熱いバトルを見てもらおうとか、ファンの方々に勇気を与えられるような走りをしたいなと思いますし、結果を出したいなと、更に思いました。(初日苦しかったが終わってみて?)いい意味で悔しいレースが戦えたっていう意味で、予選の時は悔しい思いだったんですけど、厳しいかなと思ってましたけど、ちゃんと戦える車でもあったし、戦う準備ができてるなっていうチームでもあったし、凄くいいチームですね、相方にも。みんなが支えてくれたんで、結果があると思っています。ここをスタートに今シーズン頑張って行きます！」

▼佐藤公哉選手コメント「(ウェットの中の難しいスタートだった?)セーフティカースタートということで慎重には行っただんですけど、赤旗中断でまたセーフティカースタートで仕切り直しで。コース上でオーバーテイクもしましたけど、ペース的にトップグループは速かったですけど、近くを走ってた車両にはちょっとアドバンテージがあったんですけど、車両特性の違いでなかなか抜きが難しく、こっちがコーナーで速くてもなかなか追い抜きができない、もどかしいところがありましたけど割とレースはできたかな、と。次への課題と、自分の運轉的にも色々試すことができたのでポチポチ次に向けて頑張ろうかな、という気持ちです。(スタートドライバーを任せられたが)とにかく巻き込まれない、大事な車なんで、その辺意識して、極力傷一つつけないように意識して乗りましたが凄く緊張したスタートにはなりました。岡山ラウンドでウェットだと苦しい思いもありましたけど、そういう意味でも凄く緊張感はありました。(しっかりと役割は果たせたのでは?)とりあえず無事故無違反で自分のスタントを終えられたので。スタートドライバーでしようもないことやってしまうとレースを台無しにしてしまうので、ま、それもなく、持ち帰るものを持ち帰って、とにかく次の富士でどっかで雨が降った時に使える要素をゲットできて良かったなと思います。(初日苦しかったが入賞まであと一步。手応えは)手応えはありましたね。ただ、周りも速い人たちが

っかりなんで、やすやすとは、こう、後方スタートだったんでいいところで追い上げは結構できたと思うんですけど、まああと一歩僕達のカダと思うんで、もう一歩と言わずにてっぺんでしっかりレースできるように自分もそこは慎重に色々やってしっかり頑張っていきたいなと思います」



※レース後、上位チームが車両の規定違反により失格となったため、順位が繰り上がり 15 位となりポイント 1 を獲得しました！
今シーズンも引き続き、温かいご支援とご声援をよろしくお願いいたします。

◎この度 YouTube チャンネルを開設しました！ぜひご覧ください、またチャンネル登録もお願いいたします。

URL https://www.youtube.com/@tsuchiya_25

【問い合わせ先】

つちやエンジニアリング合同会社

〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原2507

TEL : 0466-49-5010 FAX : 0466-49-5011

担当： 土屋・豊原